

悪性腫瘍の予防に対する自家NK細胞療法

同意説明書

1) この治療の概要

がん細胞は体の中で毎日数千個生まれています。これががんという病気にならないのは体に備わっている免疫の働きで生まれたがん細胞を排除しているからです。ところが、何らかの原因により免疫の働きが悪くなり、がん細胞を上手く排除できなかった場合、がん細胞は一つから二つ、四つ、とゆっくりと分裂増殖を繰り返し、やがて大きな塊を作ります。悪性腫瘍の予防に対する自家NK細胞療法は悪くなった免疫の働きを改善することで、がん細胞を排除する力を高めて大きくなりつつあるがん細胞を排除し、がんの発症を予防することを狙った治療法です。治療は血液を50mL程度採取し、専用の施設内で2週間かけてNK細胞を増殖・活性化させ、再び体内に点滴で戻すといった方法です。細胞の投与は1年間に1~4回程度の頻度で実施します。

2) この治療の予想される効果と起こるかもしれない副作用

NK細胞による直接及び間接的ながん細胞排除によって、生成されたがん細胞が大きくなるのを防ぎ、結果としてがんを発症させない効果が期待できます。

副作用としては、時に発熱と悪寒及びそれに伴う震えが生ずることがあります。個人差はありますが、通常1~2日程度で軽快します。

3) 他の治療法の有無及びこの治療法との比較

明確な **evidence** が存在するがんの発症を防ぐ治療法はありません。一方、この治療についてもがんの発症予防効果が確認されている訳ではありません。現時点では、がんの発症予防効果が期待でき得る治療法の一つという位置付けです。

4) この治療にはヒト血清アルブミン製剤が含まれています。

ヒト血清アルブミン製剤は点滴に含まれる細胞の活性や生存率を保つ目的で添加されています。

本剤はヒト血液を原料として製剤化されたもので、原料採取時には問診、感染症関連の検査が実施されています。さらに、製造工程で一定の不活化・除去処理が行われており、感染症に対する安全対策が講じられています。

しかしながら、ヒトパルボウイルス B19 等のウイルス及び変異型クロイツ

悪性腫瘍の予防に対する自家NK細胞療法

フェルト・ヤコブ病の原因となる異常プリオンを完全に排除できないため、それらの感染の可能性を否定できません。

重大な副作用として、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシーを起こすことがあります。

その他の副作用として過敏症（発熱、顔面潮紅、蕁麻疹等）、悪寒、腰痛などを引き起こすことがあります。

5) この治療はいつでも取りやめることができること

治療を受けることを拒否すること、並びに治療の継続、中止については患者様の自由意思により決定されます。したがって、治療の途中を含め、いかなる場合においても患者様の意思により治療を取りやめることができます。

6) この治療を受けないこと、または同意を撤回することにより不利益な取扱いを受けないこと

治療を拒否された場合並びに治療途中で同意を撤回された場合においても如何なる不利益を受けることはありません。

7) 同意の撤回について

治療に対する同意の撤回を行う場合には受付より「同意撤回書」を受領して必要事項を記入の上、受付へ提出してください。

8) この治療を中止する場合があること

患者様の都合や医師の判断で治療を中止または変更する場合があります。この場合、以後の治療費用は発生いたしません。

9) 他の治療法との併用について

免疫チェックポイント阻害薬の併用について、半年～1年以上経過している事を問診等で医師が確認の上、可否を決定する。

10) 患者様の個人情報保護に関すること

患者様の個人情報は個人情報保護法に則って厳格に取扱われるため、院外へ個人情報が開示されることはありません。ただし、治療の効果向上を目的とした関係学会等への発表や報告、並びに当院の治療成績の公表等へ匿名化した上で患者様の治療結果を使用させていただくことがあります。

悪性腫瘍の予防に対する自家NK細胞療法

11) この治療の費用について

悪性腫瘍の予防に対する自家NK細胞療法は保険適応外のため、全額自費となり、以下の費用がかかります（税別）。

初診料	<u>10,000</u>	円
登録検査料	<u>30,000</u>	円
治療費用（1回）	<u>300,000</u>	円

12) いつでも相談できること

治療の内容、スケジュール、費用等につきましては、いつでもご相談頂くことが可能です。尚、お電話でのご相談は患者様ご本人の確認が取れる場合のみ、お受けいたしております。
